

人権課題「LGBT 等の性的少数者の人権尊重」について

＜主な課題と今後の施策の在り方＞

- 性の在り方には「身体の性」以外にも、「性自認」「性的指向」「性表現」などの構成要素があり、これらの組合せは多様でひとりひとり異なるが、L G B T等の性的少数者の方は、周囲の不用意な言動に傷付き不安を抱いている方も多く、また、行政手続や学校、企業等での生活においても困難に遭遇することがある。
- 性の多様性については、近年社会の関心も高まってきているものの、性的少数者の人権課題に関する社会の理解はまだ十分に進んでいないため、性の多様性や性的少数者に関する正しい知識を普及し、社会参加を促進する必要がある。
- 多様な性の在り方が尊重され、全ての人が性に関する偏見や差別に苦しめられることなく、自分らしく自由に生きられる社会の実現を目指して、性的少数者への理解促進の取組を強化するとともに、性的少数者の生活における困難や人権課題の把握に努め、その解消に向けて必要な支援を行う。

＜課題に対応する本市の施策＞

本市ではこれまでから、LGBT 等の当事者団体や企業等と連携し、「1 性の多様性の理解を促進する取組（各種啓発等）」と、「2 LGBT 等の性的少数者の方々の生きづらさを和らげ、孤独・孤立化を防ぐ取組」を一体的に進めてきた。

1 性の多様性の理解を促進する取組

(1) 各種啓発等

ア 啓発パンフレット、リーフレット等

- ・ LGBT に関する手引き「多様な性に関する職員ハンドブック」の作成（本市の職員研修で活用するほか、京都市情報館に掲載）
 - ・ 市民向け啓発リーフレット「「性の多様性」ってなに？」、「知る・表明する・行動するデータと事例で「アライ」がわかる」、「LGBT について知っていますか？（※）」の作成・配布
 - ・ 企業向けパンフレット「Diversity LGBT の視点から考えるこれからの職場づくり」の作成・配布
 - ・ 思春期の子どもを持つ保護者向け啓発リーフレット「LGBTQ について知っていますか？」の作成・配布
- ※ 「人権擁護委員による人権相談」を表面に印刷し、人権相談と LGBT の基礎知識の両方について取り上げたチラシ

イ 講座

- ・ LGBT をテーマとする、企業経営者、人事・総務担当者向けの人権啓発講座の実施

ウ その他

- ・ 大丸京都店及び LGBT 等の当事者団体と連携したプライド月間（6月）における取組の推進
- ・ LGBT 等の当事者団体主催イベント等への後援
- ・ 事業者、学校、地域などが実施する研修、学習会等のサポート（講師紹介や DVD・パネルの貸し出し等）

（次頁に続く）

(2) 市民ぐるみ「多様な性の在り方が尊重される京都」推進ネットワーク

令和5年4月に、性の多様性の理解促進等に取り組んでいる団体、企業、大学等教育研究機関、行政等が連携し、「性の多様性の理解促進」、「性に関して困難や課題を抱える方への支援」等の取組を進める組織として創設。

当該ネットワークのプロジェクトとして、「多様性に関する絵本」を企画。制作に向けては、アートと共生に関わる相談を受け付ける Social Work / Art Conference（一般社団法人 HAPS）と連携して作家等を探し、少年アヤ氏の言葉と阿部海太氏の絵、筒井大介氏の編集での制作に至る。出版に当たっては、趣旨に賛同いただいた株式会社岩崎書店により、令和7年1月から全国の書店で販売。ネットワークでは、市内児童関連施設に絵本を寄贈するクラウドファンディングに挑戦し、支援金で、634の児童関連施設等に寄贈

＜クラウドファンディング詳細＞

実施期間：令和6年9月2日（月）から10月31日（木）まで

資金使途：絵本「なにでもないもん」の市内児童関連施設へ寄贈

返礼品：絵本・啓発グッズプレゼント、講師派遣など、複数のメニューを設定。

実施方法：READYFOR で寄付を受付。

支援額：1,675,000円

支援者：123名（当事者に限らず、全国の企業、学生など幅広く支援いただいた。）

2 LGBT 等の性的少数者の方々の生きづらさを和らげ、孤独・孤立を防ぐための取組

(1) パートナーシップ宣誓制度

互いを人生のパートナーとして協力し合うことを宣誓いただき、受領証を交付

令和2年9月に開始。令和7年2月末時点で、180組が宣誓

＜パートナーシップ宣誓制度都市間連携＞

パートナーシップ宣誓書受領証の交付を受けた方の連携自治体間における住所異動に伴う手続きの負担軽減を図るもので、府内では令和3年から実施。令和6年4月からは、大阪府、兵庫県及び京都府内の44自治体に拡充

さらに、令和6年11月からは、連携自治体の範囲を全国に広げ、令和7年2月末時点で、171自治体（19府県152市町）まで拡充

(2) コミュニティスペース「京都まあぶるスペース」及び個別相談会の開催

①性的少数者の意見交換や経験の共有、交流などの「場」の確保、②性的少数者の専門相談の機会の確保、③性的少数者の抱える課題やニーズの把握を目的として、コミュニティスペース「京都まあぶるスペース」及び個別相談会を、ウイングス京都を運営する京都市男女共同参画推進協会とともに実施。令和6年度は亀岡市、長岡京市、向日市と連携・共催し、年8回開催。

【主な実施テーマ】

- ライフストーリーを聞く（当事者の経験談＋参加者との対話）
- パートナーシップ宣誓制度
- アライの声を聞いてみよう 等

【参加数（令和2年度～）

のべ163名